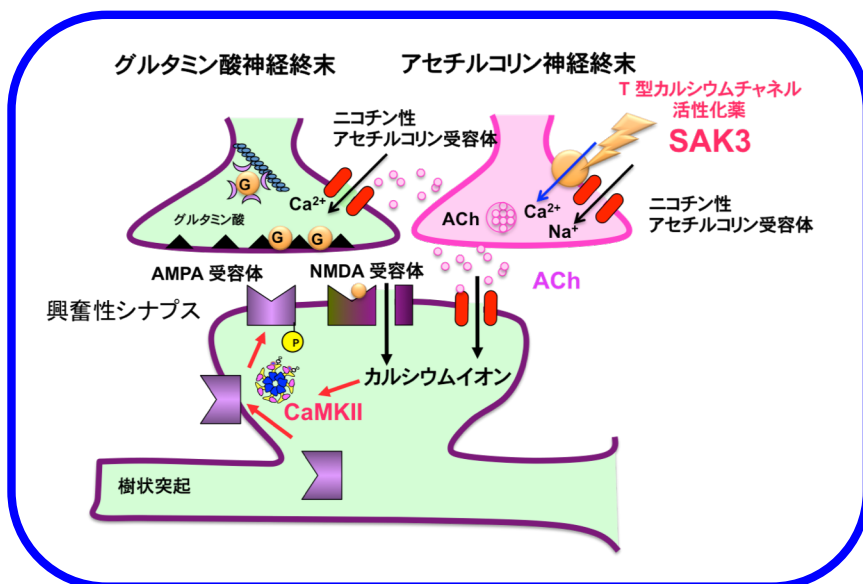


# アルツハイマー病治療薬シーズの開発に成功



TOHOKU  
UNIVERSITY

SAK3 は、世界発の T 型カルシウムチャネル活性化薬で国際特許を取得した（福永浩司先生）



SAK3 はアセチルコリン神経終末に存在する T 型カルシウムチャネルを活性化して、アセチルコリンの放出を高めて、認知機能を改善する

- 日本の認知症患者は2025年には700万人を突破する
- 進行を遅らせる薬はあるが、根本治療薬はない
- SAK3は記憶分子 CaMKII（カムキナーゼ II）を活性化して、記憶を改善する
- マウスではアルツハイマー病の原因であるアミロイドβ の沈着も抑制した



動物を用いた毒性試験（GLP）を終えており、根本治療薬として、ヒトでの安全性を確かめる臨床試験を開始する

開発・推進

東北大学 薬学研究科薬理学分野 福永浩司 ([kfukunaga@m.tohoku.ac.jp](mailto:kfukunaga@m.tohoku.ac.jp))

参考資料等

Neuropharmacology 2017.1.16掲載 (DOI: [10.1016/j.neuropharm.2017.01.011](https://doi.org/10.1016/j.neuropharm.2017.01.011))  
特許 (PCT/JP2013/51388 ; US9,173,878 B2)